

2022 栄光への軌跡

(^{むらさき}紫 ^{きょう}香 ^ぶ部 ^に日 ^き記)

第 三 部

目次

全日本選手権大会・・・2p

岡山県高校総体・・・4p

中国高校ボート選手権大会・・・11p

国体県予選・・・19p

国体中国ブロック大会・・・25p

全日本選手権大会

第三部の最初は関西チームではなく、OBの記録から始めます。今年は全日本選手権大会が5月に開催されました。通常は8月にインカレ9月に全日本なのですが・・・去年、オリンピックで使用された『海の森』で、最寄駅から送迎バス500円を払い、入場料1000円を支払っての観戦となりました。久々の有観客の大会となったのでYouTubeにレースの動画がUPされたので、誰が何処に出場しているか分からなくとも戦績を残したOBのレースを見ることが出来ました。(青野さん有難うございます。青野さんは京大出身なので京大が出ている大会を毎年撮り続けてくれています。あっ、ボートをなされたことはありませんよ。) コロナのおかげでライブ配信もするのが当たり前になったので高校卒業後もボートを続けている息子さんの雄姿を岡山からでもリアルタイムで見られるなんて羨ましい限りです。15年前はそんなもの無かった。行くしかない!!この目で観るしかない!!でした。散財したけど楽しかったです。

さて、掲示板で入賞報告を受けた先生が書き込まれていたのを探しました。



男子舵手つきフォア 組別: Final A



小橋冬唯(日大2)が3位入賞

「NTTに勝てました！」by 小橋

Rank	クルー	500m	1000m	1500m	2000m	BNNo.
1	トヨタ紡織	01:38.79	03:20.22	05:03.02	06:42.86	3
2	東レ滋賀	01:37.39	03:19.45	05:02.15	06:45.90	4
3	日本大学	01:40.27	03:25.15	05:11.05	06:54.89	5
4	NTT 東日本	01:41.71	03:27.89	05:14.43	06:56.27	2
5	佐賀県スポーツ協会	01:43.12	03:30.71	05:16.95	07:01.62	6
6	同志社大学	01:43.60	03:30.32	05:17.54	07:02.13	1

高橋愛生・江田一貴(仙台大1)が第3位《銅》。(左から高橋・江田)

「ラスト 500 で

関西魂見せてやりました！」

by 高橋

「僕がいなかったら

勝ててなかったはず。」

by 江田



男子クオドルプル 組別: Final A

Rank	クルー	500m	1000m	1500m	2000m	BNo.
1	今治造船	01:38.45	03:20.02	05:01.77	06:42.13	3
2	東京経済大学	01:40.96	03:25.86	05:09.16	06:48.06	4
3	仙台大学	01:40.53	03:27.00	05:10.89	06:49.01	1
4	龍谷大学	01:39.48	03:24.77	05:10.21	06:52.06	5
5	明治大学	01:38.18	03:24.59	05:11.83	06:54.32	2
6	法政大学	01:39.12	03:26.25	05:13.59	06:56.87	6

表彰台は逃しましたが小川(仙台大2)が舵無しフォアで第7位。(2番が小川)

令和4年度岡山県高校総体

5月9日(日)朝晩涼しくとも天気の良い日中は暑くなる。帽子・サングラス・日傘は必須アイテムで今年も出かけた。ただ、予選はパスした。その後の空き時間が耐えられない気がしたので……。勿論、今回も土手上です。

1×予選

1	柏野(関西B)	3' 54" 97
2	石井ハ(関西C)	3' 56" 50
3	林(操山)	4' 00" 51
4	南部(備前緑陽)	4' 09" 40

1×予選

1	庵谷(関西A)	3' 53" 40
2	豊田(関西D)	4' 02" 75
3	飯原(備前緑陽)	4' 04" 31
4	四谷(備前緑陽)	4' 07" 22

2×決勝

1	関西	3' 27" 04	(田川・入澤)
2	備前緑陽	3' 35" 10	
3	操山A	3' 38" 33	
4	東商	3' 43" 83	
5	操山B	3' 51" 26	
6	備前緑陽	3' 57" 61	

ホホホホホ……。楽々楽勝に思わず口元が緩みますねえ。しきりに審判艇から「自分のレーンに戻って下さい」と注意されてたのに、よう漕ぎました◎

4×+

1	関西A	3' 17" 14	(八重樫・宮内・長崎・石井や・石井あ)
2	関西B	3' 40" 37	(岡本・竹原・富谷・中塚・大源)
3	東商	3' 52" 06	

A・BどちらのCOXも元気が良い事。しかし、この差は何なん??

1×決勝

1	柏野(関西B)	3' 56" 44
2	林(操山)	3' 57" 71
3	庵谷(関西A)	3' 59" 14
4	豊田(関西D)	4' 05" 84
5	石井ハ(関西C)	4' 06" 40
6	飯原(備前緑陽)	4' 14" 67

1・2・3・4とは行かなかったが、インターハイ3種目出場が決まった。1位は庵谷だとばかり思っていたが結果を見てビックリした。ㄎㄎㄎㄎ!!下剋上の始まりなんか??



↑ 保護者応援団と OB 保護者 →

ここで・・・

《百間川土手上物語》

今回も土手の上には令和3年度卒のOB保護者が足を運ばれてました。プラス福田父と私です。今回久々に関西Tシャツを着て関西タオルマフラーを巻き、敢為マスクを着けて行きました。森川先生に

「懐かしいTシャツ着てますねえ」

と声を掛けられ

「15年前のです。」

ああ、15年経ったのねえええ。全盛期のボート部は優勝記念だなんだでバンバンTシャツを作っていました。息子が卒業しても「お礼」として頂いたり、買ったりと増える増える。でも、去年やっと大多数を処分しました。廃棄ではありません。ボート部に寄付しました。明治大学時代の物も混じってます。ローサーは残念ながら大学の後輩に配ったとかで残ってませんでしたが、COXのローサーはCOXしか着れませんよねWWW小さすぎてWWW

土手上では福田父さんと横田さん夫妻とお喋り出来ました。横田母とは褒めあいでしたが・・・。藤井風の替え歌が秀逸だったとか、横田母の文章は上手だとか・・・。一般に社交辞令と言われかねないものですね。

福田父さんが横田母と市川母のボート部に残した爪痕を教えてくださいました。

「祝勝会が流れて、こじんまりと行われた卒部会で、踝まであるスカート丈のセーラー服で余興をしたんですよ。」

いわゆるスケバンの格好ですね。かなりウケた様です。見て見たかったなあ。すかさず横田母は

「息子が爪痕を残せなかったので私が残しました～」

・・・。返す言葉が見つからないですう～ ヒクヒクと愛想笑いで逃げてしまいました。

その後、保護者とは思えない男性が土手上で観戦しておられました。遙か上のOBまで知っている私でも存じ上げない人です。福田父さんに、こっそり伺ったところ

「13年度卒の米沢さんです。西崎さんの1つ上です。」

成る程、そこまで上だと分からないはずです。

「仕事関係で知り合って、ふとした事でOBだと聞いてビックリしました。」

そうですか。う～ん何処で関係者と知り合うか分からないものですね。デンジャラス!!

部員の顔も保護者の顔も覚えられなくなりましたが、朝日レガッタでの決勝の話になり、

庵谷君の話になりました。勝つことは出来ませんでした(色々あって)諦めない根性は良いですねとか思い出話をしていると

「おはぎ君てあだ名がついてます。」

「おはぎって、ぼた餅のですか?」

「小さくて天然パーマだからだそうです。」

なかなか渋いニックネームだわ(笑)



上がって行くクルーが校歌の後で何か叫んでいる。もう、年なので耳も悪くなって来ているのか聞き取れなかった。福田父さんが教えてくれました。

「今日も関西高校が一番だ!!って言ってます。」

「旭川でも練習の後、練習してましたよ。」

と横田母が教えてくれました。

森川先生のお言葉

県総体、保護者の皆様、関西サポーターの皆様におかれましては、酷暑の中、熱い応援波動を送って頂きありがとうございました。(当日の岡山市の最高気温は32.4℃)おかげさまで全種目完全制覇、全種目インターハイ出場権獲得となりました。

この大会、私としては何がなんでも勝ちたかったです。なぜなら去年の悔しい思いがあったから。春の全国選抜大会の幻の?準優勝クルーがなぜに?? あの敗北は部員たちにとってもショックでしたが、私にとってもかなりの屈辱でした。だから、部員も私も去年のような悔しい思いをしたくないと思い、少しでも「不」を消去すべく、ずっと緊張感ある練習を積んできました。また、私は今年で定年、ラストイヤーです。私のボートにおけるインターハイデビューは、平成元年の愛媛大会。運命かどうか知りませんが、愛媛で始まって愛媛で終わるのです。そういったことで『全種目優勝!皆で愛媛へ!』が達成できて心より嬉しく思います。

よしっ、今度は「インターハイ、全種目優勝『日本一』」にしよう。インハイで全種目制覇をやった事例はありません。関西 TEAM がやってみようや! Impossible is nothing.

おっと、今日で5月も終わり。早っ! 一発目の中国大会も頑張ります。

《おまけ》大会当日早朝、百間川へ向けて車を走らせていたら、道路中央に大きな岩のような物が?!危ないなあ!と思い、スピードを落としてみると、それは岩ではなく、約30cmぐらいの大きな亀だったのです。亀が一生懸命道路を横切っていたのです。私はこのままでは他の車に踏まれると心配し、車を路肩に止め、その亀を持ち上げて傍らの用水路へ運んでやりました。その後、亀は・・・?? 今回の勝利、亀の恩返しだったのかもしれません。(笑) 感謝 for 亀さん!

令和4年度岡山県高校総体 備忘録①

何かと忙しいです。学校・部活、そして週末の中国大会の段取り、忙しすぎます。毎日ヘトヘトです。今回は過日の岡山県高校総体の備忘録です。(当分続くかも?!) まずはTEAMカンゼイの大魔神、**長崎富生**です。

5月29日 今日は試合本番だった。陸上アップから追い込んでいった。水上アップをした後に保護者の前で校歌を歌い、ステッキに向かった。5minutesが掛かるとボートホルダーに艇を持ってもらい、身体をゆるめていった。ステッキに付けた時、隣が春のセンバツで負けたT工業高校だとイメージしてやっていった。どれだけ出ても、出続けて、出まくって、食ってやると決めていた。Attention Go! スタートから飛び出した。ひたすら漕ぎまくった。ゴールタイムは、目標である3分1桁は出なかったが、ブッチギリの1位を獲得することができた。今回は相手が弱かった。だからもっと上の上のレベルでやっていく。《おわり》

私はレース前に彼らにこう指示していました。「負ける要素は全くない! 余裕で勝てるんだから徹底してブッチぎれ! 他に見せつけるつもりでやれ! そう、朝日レガッタのオトシマエを付けるつもりでやってみい。」 長崎の手記であるように、ライバルをイメージしてレースに臨んだのはGoodです。これを常日頃の練習からやって欲しいものです。もっと成長するはず。

男子ダブルスカル

関西ペアが圧勝

■ボート

百間川コース1000m
 (男) かけき4人スカル
 ①関西A(八重樫宮内) 3分17秒14
 ②関西B(岡山東高)ダブルスカル ①田川大智・入沢撞野 ③分27秒04 ④山本・河原(備前緑) ③黒住・河原(操山)ダブルスカル
 ①柏野泰智(関西) 3分56秒44 ②林(操山) 3分56秒44
 (女子) かけき4人スカル
 ①岡山東高(河名)河原・岡本、有本、橋 4分7秒31
 ②朝有里亜・逸見友香(岡山東高) 4分3秒09 ③竹内・本行(同) ④出場2艇 シングルスカル ①谷口舞美(備前緑) 4分24秒22 ②有松(操山) ③杉山(岡山東高)

スタートから全力で飛び出す
 前評判通りの力を見せつけた。ボート男子ダブルスカル(1000m)は今月初めの朝日レガッタを制した関西の田川・入沢が、2位に8秒以上の大差をつけて圧倒した。

入沢は「勝敗よりタイム。自分たちのレースに集中した」という。得意のスタートから全力で飛び出し、後続を一気に引き離した。結成半年足らずの2、3年生ペアだが「コミュニケーションがうまく取れている」と2年田川。息の合ったローイングで最後まで危なげなかった。

3月の全国高校選抜は出場権を逃した。そのときに挑む。(中原由華)

きの県予選で後れを取ったライバルたちに雪辱し「やっと悔しさを晴らせた。朝日レガッタ優勝も自信になり、今日に勝負がったかな」と入沢。課題のメンタル面も成長を遂げた2人が全国の強豪に挑む。



ボート男子ダブルスカルを制した関西の入沢撞野(左)と田川大智(百間川コース)

陸上女子600mで初優勝した中山ねね

先生も強手も！ ヤネウ

ボート男子 関西

ボート男子の関西は、かじ付き4人スカルの王座を奪還し、ダブルスカル、シングルスカルと合わせて全3種目制覇を達成した。

かじ付き4人スカルは昨年、首位に6秒近い大差をつけられ2



ボート男子かじ付き4人スカルを制した関西（手前から八重樫弦、宮内陽色、長崎富生、石井大和、石井敦貴）＝百間川コース

位。「力を過信していた。どんな時も全力で取り組むことを大切にしてきた」とコックスの八重樫。この1年間、鍛錬に励んだ成果を発揮し、きっちりリベンジした。

唯一、予選から行われたシングルスカルは、2年生柏野＝写真＝が頂点に立った。全国舞台を経験した3年生庵谷を破っての優勝に「すごくうれしい」と声を弾ませつつも「先輩の分までしっかり結果を残したい」と冷静に次を見据えた。

3種目制覇は12年大会以来10年ぶり。「ラストチルドレン」として胴上げしたい」。主将の石井敦は本年度で定年となる森川監督と迎える最後の夏、有終の美を飾るつもりだ。

(中原由華)

ラストチルドレン・・・笑いました。by 森川先生

ラストチルドレンTシャツできないかな～笑 by 石井大和母

三種目制覇なんて凄～い by 横田母

横田母さんがエライ喜んで「三種目制覇ってした事ありますか？」みたいな感じで聞いてきたが、「ありましたよ」くらいの返事でとどめておいた。ごめんなさい本当は「三種目なんて当たり前でした。」それくらいのプレッシャーの中で漕いでました。そんな時代でしたよ。

令和4年度岡山県高校総体 備忘録②

今回は、いつも「癒し声」を発するムッチーこと、庵谷悠太です。

(前文省略) 陸上アップをして7時45分に出艇して、8時42分のレースに向かった。予選の時から少し手足が痺れていたが、何とかトップでゴールすることができた。しかし、決勝へ向けてリギングをしている時は既にフラフラだった。リギング後、そのまま決勝へ向かった。スタートしてすぐに焦点が合わなくなり、3レーンでスタートしたのに気付いたら7レーンにいた。そして3位でFinish。最悪のレースをしてしまったのだ。でも、ここで終わったわけではない。まだ国体が残っている。国体の代表権を死ぬ気で獲りにいく！
《おわり》

そう、彼は熱中症になったのです。(確かにあの日は暑かった!) 彼にとって本当に悔しいレースであったと思います。しかし、熱中症になったから負けたというのはい言訳にもなりません。勝負は何が起こるか分かりません。強い者が勝つのではなく、勝った者が強いのです。勝負に不思議な負けなしです。彼の高校ボートはまだ残っています。努力一瞬。後悔一生。今を懸命に頑張ろう！なにがなんでも国体へ。頑張れ、

令和4年度岡山県高校総体 備忘録③

今日の備忘録は、大会後、全種目制覇ということで皆に胴上げされた男、なかなかエースになれない(いや、もうじきなるだろう?! ならなければならない!)石井敦貴です。

(前文省略) 10時36分、Attention Go。スタートで他艇より前に出た。そして、レース前に皆で話し合った強さと長さを全員で出し、スピードに乗り続けた。0~600を獲り、保護者の応援もあり、スパートでさらにギアを上げて2位と23秒差をつけてGoal。久し振りの1位でFinish。皆でイチバ〜〜〜ンができて本当に嬉しかった。さらに全種目優勝、全種目インハイ出場ということで部員全員に胴上げしてもらった。人生初の胴上げ、こんなに気持ちいいのか?! 今まで『皆で愛媛へ!』を胸に頑張ってきた甲斐があった。でも、今のままでは全国では通用しない。課題のスタートを改善して次の中国大会でも全種目優勝する。これからも感謝の気落ちを持って謙虚にやっていく。《おわり》

そう、私たちは『勝つ』一瞬のために頑張っているのです。勝つからおもしろい。勝つから次のページをめくりたくなる。そして自分も進化する。だから・・・勝たないと意味がないのです。どうかインターハイで優勝して私を胴上げしてやって下さい。楽しみに待ってるから。

令和4年度岡山県高校総体 備忘録④

お待たせしました。本日の備忘録は3月の全国選抜大会準優勝、5月の朝日レガッタで優勝、つまり今年になってからの主要大会で全てメダルをゲットしている Lucky Boy、スタミナ&パワー不足の骨川筋衛門こと **田川大智**です。

(前文省略)・・・あまり緊張しなかった。アップから追い込んでいき、いよいよ本番。スタートから乗り続けることができ、どんどんと他艇を離していった。ライバルの背中を見ていると疲れなかった。そのままスピードを緩めることなく、出続けて Top でゴール。とても嬉しかった。片付けをしている時、熱中症になっている者がいたので自分の体重もしっかり UP していく。《おわり》

ライバルの背中を見ていると疲れなかった・・・やっぱりレースは『Get ahead, do not get tired.』(前に出れば疲れぬ) これは、カナダナショナルチームのスローガンの一つです。自身がパワー不足、スタミナ不足と解っているのだからゴイゴイ食べて、ゴイゴイ鍛えて下さい。今日、旭川に来てくれた OB の先輩方も食生活について述べていたはず。食べることはトレーニングと同じくらい重要なのです。(あと休息も!) 人は口の中に入れる物でしか身体は大きくならんのだじゃ〜〜!(もちろんカップ麺等のインスタント食品は✕)



第 66 回 中国高等学校ボート選手権大会

6月4日(土)湖山池で行われた。湖山池は日本一の池です。鳥取は日本一のスナバと池を持ってます。地味だけどね。ラッキョウも生産量日本一です。スイカはドバイに輸出される程良い物が出来ます。やっぱり地味ですね。自虐ネタで有名になりました。「鳥取は島根の右側です。」覚えて下さいね。

いきなり森川先生のコメント 6/2

今回の中国高校ボート選手権大会、3年ぶりの開催です。そう、過去2年は新型コロナウイルス感染拡大で大会ができる状態ではありませんでした。いくら私が中国地区委員長として大会を開催したくても、開催県の自治体・高体連・協会ができないと判断すれば断念せざるをえませんでした。(やっぱり自身の年中行事が欠けると寂しいものです) 実際、中国高体連本部に大会中止の申請をし、中国5県のボート加盟校に中止の連絡をしたのも私です。だから今回の3年ぶりの開催は大変嬉しく思います。大会委員長として運営等で何かと大変ですが、開催してくれる鳥取県高体連に感謝の気持ちでいっぱいです。

3年前は岡山開催(in 百間川)。そして今回は鳥取開催(in 湖山池)です。どんな大会になるだろうか？ あっ、今回の TEAM カンゼイの監督はうちの敏腕コーチ、福田竜己としました。どんな監督をしてくれるだろうか？もちろん、選手たちの行動・言動・水上パフォーマンスも観察しようかと。

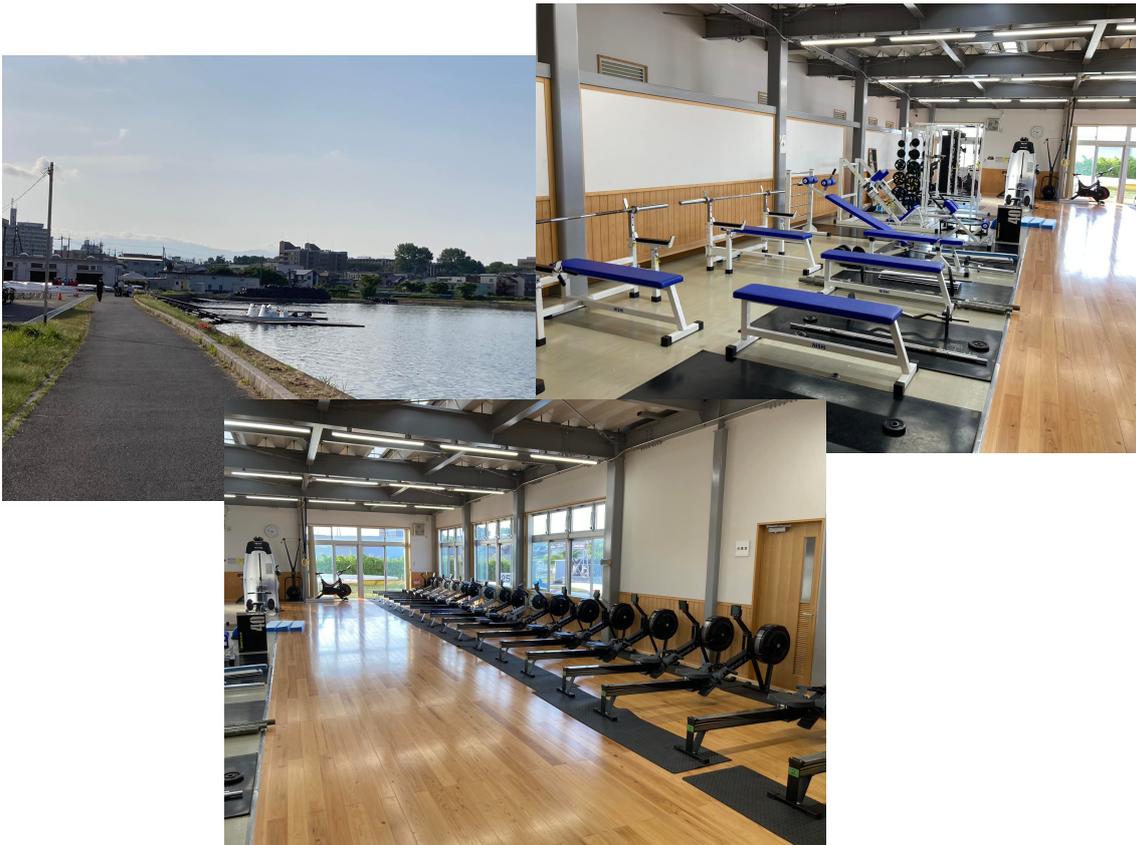


このプリン&シフォンケーキ、ばんこう美味えええ〜〜！ 女将さんの手作りです。



6/4 朝です。強風でレースがいきなり遅れてます。流石だわ湖山池。





何だか羨ましいくらいの施設になってます。いや、メッチャ羨ましいです。

1×予選

No.	レ	Crew	500m	1000m	Rank	Qualify
5 6月4日 9:40 予選 1組 2上り	1	浜石 長柁(宮島工業高校)		4:49.70	5	
	2	柏野 泰智(関西高校)		4:22.81	1	→準決勝
	3	酒井 紅(江津工業高校)		4:29.05	2	→準決勝
	4	鹿島 一侑紀(米子東高校)		4:32.08	3	
	5	森尾 翼(鳥取東高校)		4:34.95	4	
	6					

No.	レ	Crew	500m	1000m	Rank	Qualify
8 6月4日 10:10 予選 4組 2上り	1	藤井 琥太郎(宮島工業高校)		5:04.64	4	
	2	庵谷 悠太(関西高校)		4:20.29	1	→準決勝
	3	波多野 優輝(米子西高校)		4:30.54	3	
	4	石井 晴也(関西高校)		4:29.47	2	→準決勝
	5					
	6					

2×予選(田川、富谷)

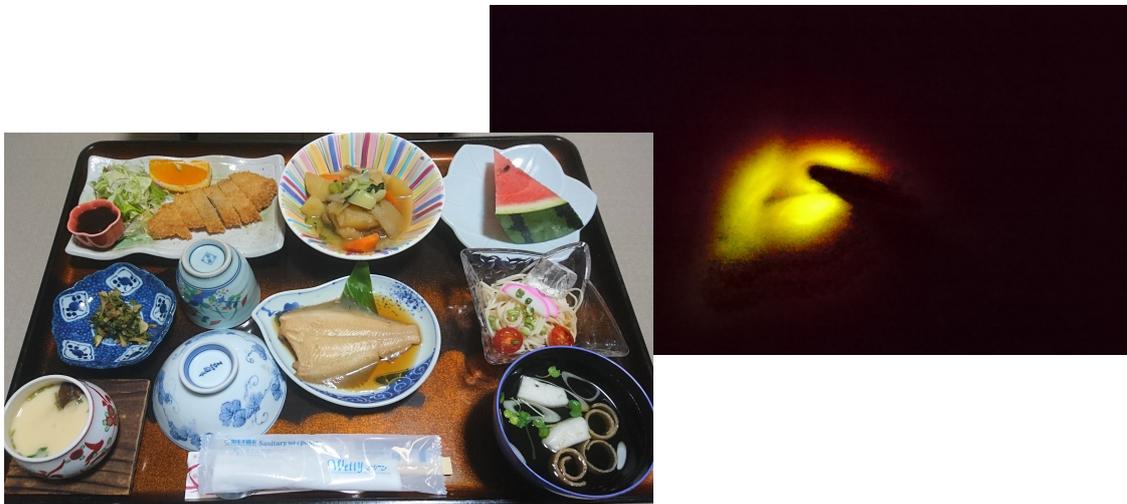
No.	レ	Crew	500m	1000m	Rank	Qualify
13 6月4日 11:00 予選 2組 2上り	1	松江北高校		4:41.99	5	
	2	関西高校		4:17.63	1	→準決勝
	3	松江東高校		4:27.98	2	→準決勝
	4	廿日市高校		4:38.99	3	
	5	広島工業大学高校		4:39.35	4	
	6					

初の県外での公式戦とだけあって、とてもレース前は緊張していましたがスタート直後に互いにミスがありそこで緊張が吹っ切れて落ち着いて行く事が出来ました。富谷このレース、本当ならレーン侵害で「除外」だったはず。大丈夫かあ?!それにスタート直後にオールを手から離すなんて……。どういう事やねん??森川先生

4×+予選(秋山、宮内、長崎、石井や、豊田)

No.	レ	Crew	500m	1000m	Rank	Qualify
18 6月4日 13:10 予選 3組 2上り	1	関西高校		3:42.06	1	→準決勝
	2	松江東高校		3:59.81	4	
	3	周防大島高校		3:54.41	2	→準決勝
	4	米子東高校		3:58.94	3	
	5					
	6					

先生から湖山池は荒れるぞと聞いていましたが、ステッキボードに艇をつけるのも困難なほど荒れていて想像以上でした。レース内容ではスタートから出られてしまいましたが、落ち着いて立て直すことができ、結果は1位でゴールする事が出来ました。宮内



森川先生のお言葉

本日子選。今、敗者復活戦をやっていますが、これからはしばらくはジュニア大会(小・中学生対象)となったので休憩となりました。夕方17時過ぎから高校の部のレース再開となります。

朝からずっと本部テントで大会委員長の仕事をしています。レースの着順・タイムの最終確認、メンバー変更届けの受理、敗者復活戦・準決勝の組み合わせのチェック、さらには今年の秋の選抜中国予選・来年6月の中国大会の運営について、そして令和7年の中国地区インターハイについて・・・何かと大変です。まあ、今のところ大したトラブルはなく、順調に大会は流れています。それよりも・・・寒いです！寒すぎです！身体のあるゆるところが縮こまっています。(特に・・・??笑) マジで風邪を引きそうです。今日だけで何回トイレに行ったのでしょうか?! 外は暖かいようですが、私は日の当たらないテントの中にずっといます。さらに強い北風が・・・。ということでずっとジャケット代わりに雨ガッパを羽織っています。(もう一枚ジャケットが欲しいぐらいです) 山陰ってこの時期こんなに寒かったのでしょうか?!

あっ、カンゼイクルーは、全て一発で予選通過です。明日の準決勝に駒を進めました。保護者の皆様におかれましては熱い応援ありがとうございました。また、予選通過したクルーを順次宿舍まで送り届けて頂きありがとうございました。本当に助かりました。きっと彼らは今ごろ温泉🔥に入って優雅に・・・、いや、秘密のトレーニングしているはずです。(そうだろ!) どうか明日も応援よろしくお願いします。目指すは3種目制覇、トリブルクラウンです。

6月5日(日)天気予報では午後から雨です。絶対荒れます。ヤバイよヤバイよ

1×準決勝

No.	レ	Crew	500m	1000m	Rank	Qualify
34 6月5日 9:30 準決 1組 2上り	1	牧野 耀聖(松江北高校)		4:08.00	4	
	2	庵谷 悠太(関西高校)		3:55.58	1	→決勝
	3	石井 晴也(関西高校)		4:02.88	2	→決勝
	4	鹿島 一侑紀(米子東高校)		4:07.25	3	
	5					
	6					

No.	レ	Crew	500m	1000m	Rank	Qualify
35 6月5日 9:40 準決 2組 2上り	1	池田 光輝(江津工業高校)		4:24.02	4	
	2	柏野 泰智(関西高校)		4:03.16	1	→決勝
	3	酒井 紅(江津工業高校)		4:09.67	2	→決勝
	4	後藤 由輝(米子南高校)		4:14.01	3	
	5					
	6					

2×準決勝

No.	レ	Crew	500m	1000m	Rank	Qualify
40 6月5日 10:30 準決 2組 2上り	1	廿日市高校		3:52.21	5	
	2	松江東高校		3:43.78	4	
	3	米子工業高校		3:38.99	2	→決勝
	4	関西高校		3:28.28	1	→決勝
	5	鳥取東高校		3:42.61	3	
	6					

4×+準決勝

No.	レ	Crew	500m	1000m	Rank	Qualify
31 6月5日 9:00 準決 1組 3上り	1	廿日市高校		3:47.65	5	
	2	周防大島高校		3:37.09	3	→決勝
	3	関西高校		3:27.15	1	→決勝
	4	鳥取東高校		3:35.19	2	→決勝
	5	米子東高校		3:38.59	4	
	6					

午後は東風が吹き出したってさ。

……。決勝の結果が発表されない……。まさか……。

あっ・・中止だって。やっぱりね。

上に繋がらない(全国大会が無い)大会は決勝クルー全員が優勝と言う結果で終わった。私は知っています。以前の東京国体もそうでした。決勝クルー全員優勝で順位決定全員が5位ってヤツ。

そして、湖山池で関西のクォド艇が沈した事も。あれは、そう正宗君(H22)がCOXしてた年でした。大雨で波は荒くスタート地点へ上がる途中の艇が沈んで行くのをこの目で観ました。ひっくり返っての沈では無く、波で水がどんどん入ってきて汲みだしても汲みだしてもズブズブと沈んで行く艇から這い上がり、OBが引き揚げたんです。国体中国ブロック大会でした。湖山池って!!

幻の決勝組み合わせも載せておこう

1×

No.	レ	Crew	500m	1000m	Rank	Qualify
43 6月5日 12:20 決勝	1	酒井 紅(江津工業高校)	-	-	-	-
	2	波多野 優輝(米子西高校)	-	-	-	-
	3	庵谷 悠太(関西高校)	-	-	-	-
	4	柏野 泰智(関西高校)	-	-	-	-
	5	石井 晴也(関西高校)	-	-	-	-
	6		-	-	-	-

2×

No.	レ	Crew	500m	1000m	Rank	Qualify
45	1	江津工業高校				
	2	宮島工業高校				
	3	関西高校				
	4	備前緑陽高校				
	5	米子工業高校				
	6					

4×+

No.	レ	Crew	500m	1000m	Rank	Qualify
47	1	周防大島高校				
	2	宮島工業高校				
	3	岡山操山高校				
	4	関西高校				
	5	鳥取東高校				
	6					

森川先生のお言葉

今大会、私は TEAM カンゼイの責任者として、そして大会委員長として臨んでいました。まあ、過去約20年以上ずっとそうですが、今大会は特にそうでした。宿舎や移動中は引率責任者として、そしてレース会場では大会委員長の顔をしていました。なぜならプログラムにあるとおり TEAM カンゼイの監督は福田竜己にしていたからです。そういったことから、委員長として大会中は他校の監督だけでなく、ある大チョンボで福田監督を厳重注意をすることもありました。

大会2日目(6月4日)、午前中の準決勝レースが終わると(関西クルーは全て勝ち上がり決勝進出)、11時過ぎから約1時間、小中学生対象のジュニアレースが実施。その頃から南風が強くなり、12時前には強風が吹き、コースには白波が……。小中学生にとっては厳しいコンディションでのレースであったはずですが。私は陸から見ていて恐怖を感じていました。

そして、12時過ぎ、いよいよ高校生の決勝レースが始まろうとしていました。しかし、南風はさらに強くなり、同時に波も高くなり、コースは荒れ狂った海のようになっていました。私は「こんな状態でレースをやっていいのか?」、「3年ぶりの中国大会、決勝レースをやってやりたい!」と頭の中で葛藤していましたが、主審艇から「波が高すぎて艇がスタートに付けられない。レース不可能!」という知らせを無線で聞いて、すぐに水上にいる艇を全て陸に揚げるように指示しました。そして、全ての艇が陸に上がるのを確認して他の競漕委員を集めて協議し、「決勝レース中止」を決定しました。また、この大会をどうするのか? No Contestにするのか? 準決勝レースのタイムで順位を決定するのか? それとも・・・? 優勝旗・優勝カップをどうするのか? 等も決めました。

その後、私は大会委員長として会場放送でこう述べました。(この時の私への周りの選手・監督・応援保護者からの視線は痛いぐらいでした!)

「選手・監督の皆さんに連絡します。コースコンディション不良のため、決勝レースは中止とします。天気予報を見るかぎり、今後波風はますます増すばかりです。夕方まで回復の見込みはありません。安全を第一優先と考え、今後のレース続行は不可能としました。また、着順を付けずに決勝進出クルーは全て第1位、優勝とします。尚、賞状は後日当該校に実行委員会より郵送します。」

本当に苦渋の選択、断腸な思いでした。この私の放送を選手・監督、そして応援保護者はどんな気持ちで聞いただろうか? 選手にとってはモヤモヤするかもしれませんが、この選択しかなかったと思います。安全に勝るものはありません。自然には決して勝てません。今起きてることを全て受け入れ、次を考えなければなりません。次は・・・??

大会初日、2日目の午前中まではまさに関西祭りでした!

他を寄せ付けないオーラが関西クルーにはありました!

息子達はみんな輝いていて、カッコよかったあー!!

他校の女子達も応援してくれていたとか!?笑 石井ア母

部員達はいつも通り爆睡中、先生は鬼の爆走中。

部員達は宿舍の特製弁当と先生がご馳走してくださったイカ焼きを食べ、すやすや寝てます。一方先生は、ワッフル一個を食べ20円引きの白バラ牛乳を飲み命懸けで運転してます。昼は競漕委員長として、今は関西高校ボート部の顧問として、これこそプロフェッショナルです。NHKの仕事の流儀のインタビューが来てもおかしくないのでは?!笑 福田監督

んで、柏野君何やらかしたの?

国体岡山県予選

昨日までの曇天もすっかり消えて暑いぐらいの晴天です。今回はシングル艇が多数参加で、レース時間も大幅な空き時間が出来るため(女子のレースが間に入る)シングルの試合観戦は諦めた。OBも返って来るから関西応援団は膨れ上がるだろう。10時から10時36分のレースを観に出かけた。

1 8:25 少男1X 予選	1	庵谷 悠太 (関西高校A)	①	3' 47" 08
	2	植田 智也 (備前緑陽高校B)	3	3' 59" 87
	3	豊田 優 (関西高校D)	②	3' 54" 43
	4	黒崎 遼大 (岡山操山高校)	4	4' 06" 06
	5			
	6			
2 8:37 成男1X 予選	1	福良 頼慶 (岡山大学C)	6	4' 30" 23
	2	須藤 弘明 (旭水艇友会)	4	3' 56" 87
	3	増成 秀規 (品川リフクトリース C)	②	3' 43" 12
	4	清野 雄大 (岡山大学A)	①	3' 39" 60
	5	吉田 成汰 (イーストRC B)	3	3' 45" 58
	6	池田 大悟 (岡山大学D)	5	3' 59" 93

OBの増成君(H18年度卒)も出てますね。竹内さんと増成君は岡山のレジェンドとして全国でも知られる人です。

7 10:00 少男2X 決勝	1		1	3' 40" 24
	2		3	3' 30" 81
	3	関西高校	2	3' 16" 41
	4	岡山東商業	1	3' 18" 86
	5		2	3' 32" 96
	6		6	4' 00" 29

観ての通り余裕の勝利でした。

3年の入澤です。

今日は国体県予選があり、自分達ダブルもぶっちぎりで優勝して国体ブロック大会に駒を進めることが出来ました！全種目通過し広島に行くことができます！ブロック大会を制した者が中国チャンピオンなので必ず広島でも関西の名を轟かせて岡山代表として英雄になって帰って来れるように頑張ります！

8 10:12 少男4X+ 決勝	1	関西高校C	5	3' 48"61
	2	岡山東商業	4	3' 34"55
	3	関西高校A	1	3' 09"67
	4	備前緑陽高校	3	3' 20"94
	5	関西高校B	6	3' 56"73
	6	岡山操山高校	2	3' 15"51
9 10:24 成男4X+ 決勝	1			
	2	関西OB A	1	3' 17"08
	3	関西OB B	2	3' 39"06
	4	岡山大学医学部	3	4' 03"46
	5			
	6			
10 10:36 少男1X 予選	1			
	2	柏野 泰智 (関西高校B)	3	3' 46"84
	3	石井 晴也 (関西高校C)	①	3' 45"75
	4	日笠 志勇人 (備前緑陽高校A)	②	3' 46"14
	5			
	6			
11 12:48 成男1X 決勝	1	清野 雄大(岡山大学A)	2	3' 30"62
	2	竹内 信二(品川リファクトリーズB)	6	3' 42"91
	3	西海 広亮(イーストRC C)	3	3' 31"28
	4	吉田 成汰(イーストRC B)	4	3' 33"02
	5	伏見 省吾(品川リファクトリーズA)	5	3' 36"85
	6	増成 秀規(品川リファクトリーズC)	1	3' 30"00
12 13:00 少男1X 決勝	1	庵谷 悠太 (関西高校A)	2	3' 42"16
	2	石井 晴也 (関西高校C)	4	3' 49"00
	3	柏野 泰智 (関西高校B)	1	3' 40"68
	4	豊田 優 (関西高校D)	5	3' 52"80
	5	植田 智也 (備前緑陽高校B)	6	4' 08"08
	6	日笠 志勇人 (備前緑陽高校A)	3	3' 44"80

4×+ A 宮内陽色(3)

B 竹原 諒(2)

C 大源崇太(2) 岡本 康佑(2)

4+ 仙台大チームが優勝(COXは日大) 日大・明治・岐阜混成チームは大きく差をつけられた



1×

3年の庵谷です。シングルで出ささせていただき結果は2位ということになりその瞬間高校ボート生活として引退ということになりました。正直この3年間自分で納得できるレースをすることは一本もできませんでした。そこは少し心残りです。高校でもボートは終わりましたがまだボート競技は続けるつもりなのでこれからもよろしくお願いします。

ああ今年もそんな時期なのね 避けては通れない試練よね

『引退』・・・はさせない！ 貴方はTEAMカンゼイにとって重要な男です。必ずや貴方を栃木に連れて行きます。・・・ていうか出場するかも？！ 森川先生

チームボートのシートレースも有るし、未だの様ですね

森川先生のお言葉

国体予選、保護者・OB保護者の皆様におかれましては、暑い中、熱き応援、ありがとうございました。おかげでシングルスカル・ダブルスカル・クォドルプル、全ての種目で勝利を収めました。7月の国体中国ブロック大会に「岡山選抜」として出場することになりました。

が、が、が・・・今回の県予選、勝ちましたものの、レース内容は今一步でした。特にクォドルプルにいたっては某ライバル校に500辺りまで並ばれる有り様。あれではブロック大会では勝てません。もちろんインターハイでも通用しません。やはり危機感の欠如でしょうか？ 何かしら“挑戦”することを忘れてるような?! いや、知らない間に「初心」を忘れてるのかもしれない。とにかく何とかしなければ・・・! 「脳力」を問われています。

私も観てて思ったよ。クォドの勝ち方は喜べないなって

森川先生のお言葉

百間川ボートコース、このコースは平成元年にできました。（それまでは旭川河口の三幡付近で大会が実施されてました）そしてこの百間川ボートコース、『2005 晴れの国岡山国体』に向けてきちんと整備され、2004年（平成16年）に新しく完成しました。その時のコースは、インハイ・国体で見ると縦張りで20mピッチでブイが設置され、一寸の狂いもなく、まるで滑走路のようなコースでした。これは某建設業者が貨物船のような船でブイ張りをする大掛かりな作業でした。しかし、岡山国体以降は全国レベルの大会は百間川ではなく、県内大会・中国大会では横張りの125mピッチの簡易的なコースとなりました。同時に、このブイ張り作業・撤収作業は、建設業者でなされるのではなく、我々教員・ボート協会スタッフの手でできるようになりました。125m間隔で簡単と思われるかもしれませんが、水上ゆえにかなり危険かつ重労働なのです。（毎回、この作業によって激しい腰痛と肩凝りが・・・）

先日、大会後、いつものように作業船に乗って撤収作業をしていました。その時、作業船を操縦する漁師さんが私にこう言いました。「あんたがおらんようになったら、この作業は誰がするんじゃ？」確かにそうです。いったいあの危険な重労働を誰がするのだろうか？このブイ張り・撤収作業、岡山国体後、約15年以上、私一人でやってきました。おそらく県内の高校の先生でこの作業をできる人は、私を含めて二人ぐらいしかいないのでは？知らんけど！

そんな中、大会後の撤収作業の際、ゴールのブイがどうしても外れなくて大変でした。往生しました！さて、どうしよう？！原因は解っているのですが、とにかくワイヤーが水中深くに引っかかって外れないのです。さらに水は濁って、水中はほとんど見えない。しかし、このままでは作業が滞ってしまう。いや、終わらない。これは水中に潜って外すしかない！同乗していたうちの部員を潜らせるわけにはいかない！私は、意を決して水中に潜ることに。服をきたまま、長ぐつを穿いたまま（足を切ってはいけないので）ドボ～～～ン。（決してスポンポンではありません！笑）水底に足が届くと思っていたのですが、全然届かない。思った以上に水深は深い。もちろん水中は濁ってほとんど見えない。立ち泳ぎをしながら水中のワイヤーを外そうにも、手探りゆえになかなか外れない。さらに長靴を穿いていたため、靴内に水が入り、足が重くなり数十秒しか立ち泳ぎができない。途中、溺れそうになり少し百間川の名水を飲んでしまいました。で、数分間の必死の格闘の末、何とかワイヤーを外すことができました。あの光景を見ていたうちの部員、他校の部員はどう思っただろうか？俺はHEROや！・・・ではなくて、この年になって、もうあんな事は二度としたくない！何でせんとあかんのや！！

ふふ・・・っ 来年、操山辺りの先生がブイ張りしてたら嬉しいかも・・・。
そうなんですよね。審判はブイもテント張も一切携わりません。ボランティアですから、基本は当日現地でレースがスムーズに行われるようお手伝いするだけです。

備忘録①

さて、今回は過日の国体県予選の備忘録です。まずは5月末の県総体でインターハイ・シングルスカル代表を射止めた男、ぼちぼち頭角を見せてきた男、何をやらかすか分からない、将来競輪選手になるかもしれないスマホ命な**柏野泰智**です。

6月12日(日) 《前文省略》予選は晴也と同じ組だった。スタートで出たことに安心してしまい、気付いたら並んでいて焦って腹切ってしまった。そして、そのまま抜かれて3位でFinish。油断や陸での行動が出たと思った。応援に駆けつけてくれた人たちに申し訳なく、恥ずかしい気持ちになった。決勝はスタートからスピードに乗れて勝つことが出来た。が、予選の事もあって嬉しくはなかった。周りからもっと「勝って欲しい」と思われる男になる。《おわり》

あの日の国体県予選会、予選は4の2上がり。本当ならそこで予選落ちしていたはず。しかし、タイムで拾ってもらってどうにか決勝進出。そして、決勝では先輩の猛追をかわして何とかトップでゴール。そう、神様に助けてもらったのです。だから・・・これからは他から「勝って欲しい」と思われるような男になって欲しい。もっと自分に厳しくなって欲しい！人から勝って欲しいと思われたい限り永遠に勝つことはありません。もちろん勝っても誰も喜んでくれません。You never walk alone. まずは私生活から変えて下さい。生き方を変えて下さい。

分からなかったら・・・見つからなかったら何をしてもええんとちゃうでええ～～！

備忘録②

本日の備忘録は、前回も登場、TEAMカンゼイの大魔神、Bigな男になりそうでなってくれない男、今夏8キロDietして劇的ビフォアアフターを成し遂げる**長崎富生**です。

《前文省略》水上アップから追い込んだ。途中校歌を歌ってステッキに向かった。県総体みたいにブッチぎってやるつもりだった。目標タイムは3分8秒。10時12分、Attention Go！皆が一気に飛び出していった。他校の連中は引退がかかっているので500辺りまで食らいついてきた。このままだと目標の3分8秒は出ないと思い、そこからさらにギアを上げていった。トップでゴール。陸に上がってタイムを確認すると3分9秒だと聞いた。あと1秒足りなかった。この落とし前は、7月の中国ブロック大会で2位に2艇身つけてブッチギリで優勝する。《おわり》

たかが1秒、されど1秒です。この1秒は神様がくれた宿題です。何が足りなかったのか？今後どうすればいいのか？そもそも自分たちは春から進化しているのか？こんなレースをしているようではインハイでは勝てません。夏は春のように甘くありません。夏の王者が真のチャンピオンなのです。常に危機感を持って常日頃の練習、そしてレースに臨んで欲しい。中国ブロックで「2艇身」つけて勝つと言ってるが、今年のこの大会(in 岡山・百間川)では2位に8秒つけて優勝したはず。大丈夫かあ？！とにかく今度こそ有言実行です。目標のないところに努力はありません！

掲示板更新もとい進化してます

HPに『2010 戦いの記録(04~09 国体6連覇特集)』・『2012 RSK メッセージ 激漕！関西高校ボート部 水上の挑戦者たち』・『2017 KSB スーパーJチャンネル 「国体初の混成クルーで挑んだ頂点」』がアップされました。Cafe店長の林さんが先生に頼まれて懐かしい映像を編集してくれたのが『戦いの記録』テレビで特集を組まれた2本と一緒に登場しました。福田君・長谷川君・若山君・森本君・千葉君・樫原君・浅野君と歴代のキャプテンと共にその時代のチームメンバーが映し出されて懐かしいいたらありゃしない!!この黄金期に息子が混じる事が出来たのを今更乍ら運が良かった幸せ者だと思います。この映像に映る事が出来なかったメンバーも合わせて思い出します。国体県予選で一線を退きサボートに専念したりダブル・シングルに乗っていたりしてました。

後日にはまたまたNHKやOHKのニュースまで登場。・・・ここまで来ると先生は本当に今年度を最後に引退するつもりなんやろかと思ってしまう。この掲示板を自身の思う最終形態として残そうとしているんでしょうか?・・・巻き込まれてる林さんにつくづく頭が下がります。本当に本当にありがとうございます。

しかも、次々とニュース映像がUPされている。林店長は昔のVHSを先生から頼まれて自宅のデッキを探して押し入れや倉庫を掘り起こすという大変な作業をしてらっしゃる。見つけたデッキが動いたので良かったと胸をなでおろされたそう。

7/9 山陽新聞朝刊 インターハイの展望

展望

男子は全て関西からの出場。舵手付きクオドルプルでは全国選抜2位、

ボート

朝日レガッタ4位から頂点目指して巻き返しを図る。ダブルスカルは朝日レガッタに続き優勝を狙う。シングルスカルは伸び盛りの2年生・柏野が決勝進出を目指す。女子のシングルは選抜6位の備前緑陽・谷口がさらに上位を目指すし、舵手付きクオドルプルでは選抜7位に終わった岡山東商が決勝進出を狙う。メンバー変更して臨むダブルスカルも少しでも上位を

目指したい。
(岡山東商・石原律子)

出場選手

【男子】
 ▼監督 森川幸夫、福田竜己(以上関西)
 ▼選手 八重樫、宮内陽色、長崎富生、石井大和、石井敦貴、豊田優、秋山衛、田川大智、入澤撞野、魔谷悠太、柏野泰智(以上関西)

【女子】
 ▼監督 石原律子、高田昌子(以上岡山東商)、則近涼子(備前緑陽)

谷口琴美 ▼選手 河有里美、竹内はな、本行菜、岡本彩花(備前緑陽)、名亜美、堀ねね、逸見友香、有本陽衣、河原みゆ



関西

7月は国体中国ブロック大会が芦田川で、8月は愛媛の玉川湖でインターハイです。どちらも見に行く予定です。私も最後の年だと思って行ける場所には行かなくては!!・・・栃木は無理です。

第77回 国体 中国ブロック大会 7/17

私が芦田川に行くのも最後かもしれない。まあ、息子が高校卒業して大学ボートも卒業しても観戦に来る保護者は少ない。コロナで大会中止が続いてからは近々のOB保護者でさえ百間川以外では見かけなくなった。自分の事ながら良くやるわ・・・と思ってしまう。もはや病気だね。

朝8時前に自宅を出る。毎回県外遠征に行く時の決まり事になってしまった手作りサンドウィッチとコーヒーと一緒に車に乗り込み高速に入ったら朝食タイム。運転しながらでも食べやすい様に一つずつラップにくるんである。しかも、それをバナナのようにラップを剥して運転手に渡す甲斐甲斐しさは、良妻アピールです。ここまですれば文句も言わず運転してくれます。た〜んじゅん(笑)

ちょっと早く着いたのでハローズでトイレ休憩。福山は広島県。駐車場のナンバープレートのデザインはカーブ(×●>◡<●)。♡「いいなあ」を連発する。トイレにはボート関係者がウロウロ・・・これもお決まりですね。

芦田川の良い所は河川敷に駐車して、いくら歩かずにレースが観られる事です。琵琶湖みたいに新居浜ヤードから2*も歩くななんて勘弁してほしいよね。さて、関西応援団の近くでは気を遣わせるし、炎天下の中の観戦は嫌だったので車の中かな?とっていたら土手に木陰を見つけた。既に何人か陣取ってる人が居るので端っこの日陰ギリギリに座る。

少年男子シングルスカルの組合せと結果

No	BNNo	Crew	500m	1000m	Rank	Qualify
7月17日 10:38 決勝 3上り	1	柏野 泰智(岡山選抜)		3:54.43	2	→
	2	松野 央河(山口選抜)		4:19.35	5	
	3	砂場 大和(福山ボートクラブ)		3:57.27	3	→
	4	佐々木 静基(鳥取県選抜)		3:46.45	1	→
	5	酒井 紅(江津工業高校)		4:02.60	4	
	6					

目の前で抜かれる。せめて2着でと声を張り上げたが、止まった。????「腹切りかな」と私の運転手が呟いたが、そうは見えなかった。また漕ぎ始めて何とか逃げ切った様だが、今のは何なん????隣でおじいちゃんとおばあちゃんが「ゴール間違えたんかなあ」と会話してる。「またかなあ」・・・って前もあったんか???何じゃそれは!!! ゴールはブイでは分かりません。あくまで目安です。そんなんでエエンか??しかも大分手前やぞ!!

暫くしておばあちゃんが「疲れたから止まったんだって」・・・。柏野の祖父母だった。ど・ど・どんなオチなん??

少年男子ダブルスカルの組合せと結果

No	BNNo	Crew	500m	1000m	Rank	Qualify
6 7月17日 11:10 決勝 2上り	1	岡山選抜(入澤・田川)		3:24.77	1	→
	2	松江工業高等専門学校		3:51.95	5	
	3	宮島工業高校		3:35.88	4	
	4	鳥取県選抜		3:28.77	2	→
	5	周防大島高校		3:30.01	3	
	6					

三艇身?二艇身??目標には届かず。

《芦田川土手物語》

偶然にもお隣が柏野祖父母さんでした。可愛らしい妹さんと弟さんが関西ブースと行ったり来たりしています。聞き耳を立てる必要もなく会話は聞こえてきます。おじいちゃんは孫の観戦に愛媛も栃木にも行くようです。愛媛は道後温泉に宿をとったらしく、応援がメインか温泉が楽しみなのかといった具合。栃木は日光の観光が出来ると聞くと、これまたウキウキムード。「日光かぁ、そりゃエエなぁ」一緒にお話ししていたおじいちゃんが誰なのかは不明のままです。敗者復活回ったら観光どころじゃなくなるけどね。

「関西の応援ですか?」と声をかけていたんだけど私の正体はバレてません。柏野母も時々様子見に来てましたが、大人しくしていたので気が付いてなかったと思います。これ読んでビックリするかな?(笑)

もう一組柏野祖父母のお隣におばあちゃんが座っていました。

「ちょっとお話しきいてくる。」と運転手を放置して話しかけてみました。

「どの子の応援ですか?」

「田川です。そちらは?」

「小西です。後援会です。」OB 保護者と言うには昔過ぎる気がしました。

「田川(父)さんとは百間川でお話ししました。」

「ああ、長い事話されてましたね。」あら、覚えられてましたか…。てか、そこにもいらしてたんですね。

「一着で国体出場良かったですね。」

「ん～でも、あれじゃあ行っても勝てませんねえ。」

「・・・。そうですね。」否定できんかった・・・。良く分かってらっしゃる。侮れないおばあちゃんや!

「小さいから、クォドに乗りたんだけど乗せて貰えないみたい。」

「体格やリーチの長さとか色々有りますから。クルーボートは漕ぎが揃わないといけなから難しいですよ。今までも実力があるのにシングルで漕いでた子もいましたよ。」

息子さんの事お孫さんの事親子で頑張っている事お話ししてくれました。上品な方だな

とお人柄を感じましたよ。こちら可愛い妹さんが行ったり来たりしてました。

少年男子舵手つきクォドルプルの組合せと結果

No	BNNo	Crew	500m	1000m	Rank	Qualify
9 7月17日 11:34 決勝 2上り	1	鳥取県選抜		3:28.09	2	→
	2	岡山選抜		3:15.28	1	→
	3	松江東高校		3:33.78	4	
	4	宮島工業高校		3:32.40	3	
	5	山口選抜		3:34.78	5	
	6					

(石井あ、宮内、長崎、八重樫、石井や)

何もいう事はありません。素晴らしい!!目標達成ですね。

三種目国体出場!!

成年男子ダブルスカル 5 県対抗の組合せと結果

No	BNNo	Crew	500m	1000m	Rank	Qualify
12 7月17日 11:58 決勝 5上り	1	岡山選抜		3:30.53	2	→
	2	広島大学		3:46.11	4	→
	3	島根選抜		3:30.56	3	→
	4	鳥取県選抜		3:29.23	1	→
	5	山口選抜		3:53.72	5	→
	6					

H18 増成君も国体出場決定です。じいさん(ニックネーム)やるなあ。33歳だよ。

成年男子舵手つきフォアの組合せと結果

No	BNNo	Crew	500m	1000m	Rank	Qualify
7月17日 11:50 決勝 2上り	1	鳥取県選抜		3:25.46	3	
	2	島根選抜				DNS
	3	山口選抜		3:21.46	1	→
	4	広島選抜		3:30.29	4	
	5	岡山選抜(小橋・高橋・石川・小川・江田)		3:23.24	2	→
	6					

クォドが終わるとサッサと帰路に着きました。じいさんゴメンね。目の前を森川先生のチャリが通り過ぎようとしたので、立ち上がり手を振りながら
「森川先生～お疲れ様ああ」
一瞬何処から叫んでいるのかキョロってましたが見つけてくれて手を振って下さいました。隣のおじいちゃんおばあちゃんたちも会釈してるのが目の端に映りましたよ。

本当はこの後「なか勝」で鰻を食べて帰ろうと計画していたのですが、今日の予定の70食は予約完売したと言われスゴスゴと引き揚げました。今年は何処に行っても鰻に振られてます。帰りがけに見つけました。『らいおん』なかなか派手なお店です。



森川先生のお言葉

中国大会では熱い応援を送って頂き、ありがとうございました。チームの目標であった『皆で栃木へ！』を達成出来ました。今大会、広島県開催といっても開催場所は福山市芦田川。河川敷には中国5県で岡山の応援、いやTEAMカンゼイの応援が一番多かったと思われます。おかげさまで少年男子の部では全種目国体出場権獲得。成年男子の部においては付きフォア(小橋・高橋・石川・小川・江田)とダブル(増成)が国体出場を決めてくれました。そう、かなりのTEAMカンゼイが、いや、TEAMモリカワが国体に出ることになります。教員ラストイヤーの私にとって本当にありがたいし、嬉しく思います。

現役部員たちにとっては久しぶりの県外レース。どう感じたでしょうか？私はこの国体中国ブロック大会優勝こそが真の中国Championだと言ってきました。果たして自分達の目標が達成できたでしょうか？クオドルプルについては「約束の2艇身」の目標を掲げていましたが、いくらレベルが低かったとはいえ、2位以下に13秒、約6艇身の差を付けてブッチぎりのレースでした。ダブルスカルについては「約束の3艇身」は程遠く・・・焦りまくってのゴール。(よそ見し過ぎじゃ！そして何よりパワー不足！飯食べんかい！)シングルは2位でFinishしたもののトップに8秒もブッチぎられてしまいました。悲 《詳細は掲示板参照》

まあ、6月の中国大会は全く当てにならないということも解ったはず。(どこも手の内を見せません！)そして、これは各県の代表ばかりが出てくる大会でミニインターハイのようなもの。この経験を今後の糧として欲しいです。

さあ、これからはインハイモード。目標のないところに努力はありません。常に・・・Something Newを求め、Stay Hungryでいなければなりません。

俺、インターハイ勝ちたいんじゃ！ てっぺん獲りたいんじゃ！！



さて、三種目国体出場決めたご褒美にお約束の焼き肉を『マンボ』で先生にご馳走になっていた。実はこの近所が私のパート先で『マンボ』は通勤ルートなんですよ。何せ中銀本店とか表町とか天満屋は仕事終わりにウロウロしてます。仕事が終わって暑い日差しの中、日傘をさしてホトホト歩いていたら『マンボ』の店先に置いてある吸い殻入れの側にデカイおっさんがスマホをいじりながら煙草を吸っていた。この後ろ姿は……。声を掛けたら振り向き様驚いていた。そりゃ、ランチタイム過ぎにこんな所で知り合いに会う訳がない。県庁通りの一本裏は人通りなぞ皆無に近い。スマホで何を見ていたかと言えば高校野球の県大会の試合経過。関西が倉商に負けた試合です。ブツブツと何か言ってました。次に目の不調について、知ってました。以前、福田コーチに写真を見せてもらってましたから。3D映像を見るような装置をつけて寝てる写真でした。

「焼肉の煙が煙とうて」と言ってますが、煙草の煙は大丈夫の様です。アラ還ともなればアチコチ悪くなります。子供達と一緒にギトギトのラーメン食ってたらヤバイって。

「車ですから、ビールは飲んでませんよ。」愛車を指さしながら否定してますが、わたし生活指導の先生でもお母さんでも警察でも無いんですから……言い訳は無用です。怖い？私が怖いのか？

何でか子供たちに激励の言葉をとかって店内に……。頂きました!!何処のおばちゃん??視線。慌てて起立したのは福田コーチ。私って怖がられてるの??(笑)

「栄光への軌跡の作者です。」に反応してくれたのは二人くらいで「あぁ」の薄い反応。怒ってませんよ。自分が活躍した一年の記録を見るのは国体が終わって暫くしてからですもん。レギュラーにも成ってない時の日記なんて読みませんよ。だいたい教科書さえ読まないと聞いても驚かないですから。(笑)

